

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	秘書広報課
事務事業名	広報・広聴事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	01	広報広聴・情報公開の充実
大事業名	020102	広報・広聴業務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	広報紙やホームページなどを通し、行政情報やまちづくりに関する情報を積極的に発信するとともに、必要な情報の提供・公開に努めることにより、市政の透明性を高め、住民との情報共有を図り、協働のまちづくりを推進していく。						
成果指標	ホームページへのアクセス件数(年間)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	267,000	267,000	267,000
		実績値		266,000	290,205		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	5,872千円	予算	6,050千円	見込	6,637千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	広報紙で継続的に町の活性化に貢献しているNPO法人団体の活動を紹介し、協働のまちづくりに対する住民の理解に努めた。 「住民主体のまちづくり」をテーマとして、町長との意見交換会を自治会単位で開催し、広く市政に関する住民の意見を聴くとともに、行政と住民との協働のまちづくりについて考える機会の提供に努めた。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	住民と行政との協働のまちづくりや住民主体のまちづくりの必要性について理解を深めるとともに、協働のまちづくりを進める上での課題等を認識することができた。						
今年度の活動計画	協働のまちづくりを進める上においては、町の現状や課題を知ってもらい、一緒に考えてもらう必要があるため、広報紙で町の業務の内容を紹介していく。 よりわかりやすく町の情報を提供できるようホームページの全面改訂（リニューアル）に向けた検討を行う。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	秘書広報課
事務事業名	情報公開事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	01	広報広聴・情報公開の充実
大事業名	020101	情報公開事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	行政活動に対する信頼の確保と住民への説明責任を果たすため、豊能町情報公開条例に基づき、公文書の適正な公開を図る。						
成果指標	異議申立がなかった割合		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	100	100	100
		実績値		100	100		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	101千円	予算	173千円	見込	173千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	・平成23年度情報開示請求件数 28件 (うち開示16件、部分開示7件、不開示0件、不存在4件、取下げ1件)						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	条例の趣旨等に基づき、公文書の適正な公開に努め、行政の透明性の確保を図ることができた。						
今年度の活動計画	引き続き、条例を的確に運用し、公文書の適正な公開に努める。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	住民参加促進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	02	住民参画・協働の仕組みづくり
大事業名	020106	企画一般事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	NPO団体やボランティア団体などに講師を派遣し、課題の解決や組織力の強化を支援するとともに、まちの活性化を図る。また、権限移譲を受けた非営利特定団体に係る設立認証や定款変更認証等事務について、身近に手続きを行う。						
成果指標	NPO団体等への講師派遣人数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1	1	1
		実績値		1	1		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	35千円	予算	60千円	見込	60千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	本町に事務所を有するNPO団体等を対象に、特定非営利活動促進法（NPO法）の改正施行（平成24年4月）に伴う会計処理に関する研修会を行った。講師は公認会計士。（平成24年2月17日実施。参加者：6団体、7名）						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	NPO法の改正に伴う会計処理の変更があり、従前の収支計算書が「活動計算書」となる。これは、法人の当期の正味財産の増減原因を示すフローの計算書であり、財務的生存力を把握する上で重要なものの一つとなる。今回の研修会により、改正後の会計処理の概要を学び、今後の会計事務に活かすための準備ができた。						
今年度の活動計画	本町に事務所を有するNPO団体等を対象に、秋頃をめどに連絡会議を持ち、各団体が抱える課題等について意見交換を行う。そこで、全体的な課題把握に努め、今年度の研修テーマを決定し、関係する講師選定を行い、実施する予定。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	自治振興事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	03	コミュニティ活動・交流活動の活性化
大事業名	020111	自治振興事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	各自治会長を行政連絡協議員に委嘱し、町行政と自治会との連絡調整の役割を担っていただくとともに、自治会の主体的活動を支援するための助成を行う。						
成果指標	自治会の会員世帯数（※H22年度から自治会運営補助のあり方を見直し、3ヶ年かけて補助金額の割合を自治会加入世帯割に重点配分とした。）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	世帯	-	7,560	7,600	7,650
		実績値		7,517	7,087		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,597千円	予算	2,598千円	見込	2,598千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	行政連絡協議員会議を3回開催した。(4月・11月・2月)また、各課から個別に自治会長に相談等行い、地元自治会の調整等に協力いただいた。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	自治会の事業(総会資料作成・自治会広報誌など)に対する運営補助を行い、自治会運営に寄与できた。						
今年度の活動計画	行政連絡協議員会議の開催(3回予定)。各課への相談における最初の窓口として案内・調整を図る。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	企画政策課
事務事業名	町民祭事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	03	コミュニティ活動・交流活動の活性化
大事業名	020106	とよのまつり事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	実行委員会による企画運営を行い、行政が実施するイベントの概念を払拭して、新たな試みを実施することにより、町内外への情報発信と交流を図る						
成果指標	町民祭来場者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	約3,000	約3,000	約3,000
		実績値		約3,000	約5,500		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,200千円	予算	1,200千円	見込	1,000千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	町と観光協会及び商工会からなる実行委員会を立ち上げ、町民祭からとよのまつりとしての第1歩を踏み出すことが出来た。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	実行委員会形式になったことから、町民祭時にはできなかった参加費用の徴収や、酒類の販売などが可能となり、今後のとよのまつりのあり方への道筋をつけることが出来た 当日の参加者は5,500人に達し大変にぎわいであったが、ふれあい広場で行われた農業祭が午前中で終了し、その後3時までの間池田北高校のダンス部の演技などを催したが、閑散とした雰囲気は否定できず今後の課題が残った。						
今年度の活動計画	実行委員会で行う2回目のとよのまつりとなることから、より住民にとって身近な祭りとなるよう、参加しやすいイベントの企画及び、誰でも知っているような有名ブランドを持つ企業等の参加を依頼し、町外にも大きく発信出来るものにしていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	企画政策課
事務事業名	企画一般事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	04	エリアマネジメントの推進
大事業名	020106	企画一般事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	住民主導による地域の良好な環境づくり活動であるエリアマネジメントの推進にむけ、地域の実情に応じた住民主導の地区総合計画づくりを支援する。						
成果指標	地区総合計画を作成した地域自治組織数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	地域	-	0	0	1
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	708千円	予算	446千円	見込	446千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	吉川地区（花折街道）活性化のため、吉川自治会を中心に、町・観光協会・池田土木事務所・能勢電鉄の協同ネットワークを作った。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	ネットワークを構築したことにより、それぞれが単独で実施していた地域のイベントなどで連携することができるようになった。そのため、能勢電沿線でのチラシ配布・ポスター掲示や、観光協会を通じた広報、大阪府ホームページへの掲載など、相互協力によってイベントPRが効果的に行えるようになり、参加者が500名を超えるイベントを開催できた。						
今年度の活動計画	ネットワークを活用して吉川地区マネジメントのアドバイスや情報提供を行うとともに、エリアマネジメントの考えを地区住民に浸透させるための活動費として吉川自治会が助成を受けた「まちづくり初動期活動サポート助成」を効果的に活用できるよう協力していく。また、地域の盛り上がりにあわせて地区総合計画の作成について支援していく。さらに、他地区でのエリアマネジメントについても推進されるよう周知啓発を行っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	副町長直轄担当（財政課）
事務事業名	普通財産管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	01	行政運営の推進
大事業名	020105	普通財産管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町有普通財産の適正な管理に努めるとともに、遊休地の貸し付けや売却などにより財産収入を確保する。						
成果指標	町有普通財産の財産収入		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	千円	-	30,000	30,000	30,000
		実績値		1,869	20,845		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	6,647千円	予算	49,669千円	見込	4,669千円
	うち特定財源	決算	23,296千円	予算	47,758千円	見込	2,758千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	普通財産管理専任の職員を2名配置した。 国の緊急雇用創出事業を活用し、戸知山の草刈等を実施した。 東ときわ台8丁目の町有の遊休地（雑種地2筆、公簿面積合計457㎡）を一般競争入札によって売却した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	専任職員を配置したことにより、普通財産の管理（草刈等）と戸知山の活用（栗、桜、もみじ、炭焼釜等）が適正迅速に行えた。また、国の緊急雇用創出事業を活用したことにより、戸知山の草刈清掃等が実施できた。 遊休地の売却により18,200千円の収益があった。						
今年度の活動計画	普通財産管理業務を総務課から分離し、副町長直轄担当が所管することにより、より一層の適正管理と活用に努める。また、国の緊急雇用創出事業が終了したため、町直営により戸知山の管理を行う。さらに、遊休地の売却を進める。 なお、吉川財産区繰入金を活用し、旧吉川公民館改修工事を施行する。竣工後は地元自治会に無償譲渡する。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	総務課（財政課）
事務事業名	財政管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	02	持続可能な財政運営
大事業名	020103	財政管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町税をはじめとする自主財源が減少し、地方交付税等の依存財源の比率が高まる中、歳出の削減に努め、経常一般財源を有効に活用する。						
成果指標	経常収支比率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	95	94.5	94
		実績値		95.4	91.2		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	761千円	予算	18,610千円	見込	806千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	財政再建計画を実行した。 (H23に新たに実行したもの＝巡回バスを廃止し、社会実験に切り替え。本庁受付業務委託を廃止し、直営。ふれあい文化センター分館の廃止。清掃事務所と環境課事務所の統合。粗大ごみの有料化。東地区の幼保一元化。西地区の幼稚園統合。吉川公民館の廃止、地元移管。図書館のコンピュータシステム更新に国の交付金を活用。ユーベルホールの自主事業を連携協力事業に再編。)						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	財政再建計画25項目の効果額見込みが当初(H22年3月)は1,956百万円だったが、現在(H24年3月)は2,067百万円となった。特に、経常収支比率に影響する人件費の削減効果額見込みが、当初は1,025百万円だったが、現在は1,346百万円となった。						
今年度の活動計画	財政再建計画を実行する。 (新たに実行するもの＝豊悠プラザと保健センターの統合に向けた施設整備及び豊悠プラザを貸与する民間事業者の決定。年度末に農村婦人の家を廃止し、新年度から地元移管。シーツの利用料金見直しにより、指定管理料を削減。) 財務会計システムを更新する(5年間の債務負担行為)。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	総務課（財政課）
事務事業名	基金管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	02	持続可能な財政運営
大事業名	020101	基金管理事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	突発的な不測の事態に対応することや投資的事業を計画的に行うため、継続的に一定の現金を保つ。						
成果指標	財政調整基金残高 【※H21基準値はH20決算値（H21年5月末現在）、H23実績値はH23決算値（H24年5月末現在）】		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	百万円	-	1,300	1,200	1,100
		実績値		1,046	1,752		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	468,399千円	予算	39,319千円	見込	39,017千円
	うち特定財源	決算	2,437千円	予算	9千円	見込	9千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	基金の運用収入と前年度繰越金だけでなく余剰金を積み立てた。 各基金からの借入金を計画どおり償還した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	積立金428,785千円 （内訳＝財政調整基金積立金 228,089千円 退職金等引当基金積立金200,000千円など）						
今年度の活動計画	不用額をきめ細かく減額するなど、歳出を削減し、余剰金を積み立てる。 執行予定のない基金で短期国債を購入するなど、基金運用収入を確保する。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	税務課
事務事業名	町税収納・徴収事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	02	持続可能な財政運営
大事業名	020202	町税収納・徴収事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	公平な徴収に努め、町財政に寄与するため						
成果指標	現年度分の町税徴収率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	99.3	99.3	99.3
		実績値		99.1	99.1		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	927千円	予算	983千円	見込	983千円
	うち特定財源	決算	415千円	予算	466千円	見込	466千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	未納者に対する地道な督促や滞納者に対する徹底した催告及び財産の差し押さえなどを行い、税の公平性の確保に努めた。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	現年度分及び滞納繰越分を合わせた町税全体の徴収率が向上した。						
今年度の活動計画	今年度も、未納者に対する地道な督促や滞納者に対する徹底した催告及び財産の差し押さえなどを行い、納期限内に納税された方との公平性を確保する。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	秘書広報課
事務事業名	職員研修事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	03	組織の活性化と職員の育成
大事業名	020101	職員研修事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	職員一人ひとりの資質の向上や能力の開発などに努め、住民志向性や地域住民との協働を実現できるコーディネータ力、コスト意識や問題意識・改善意識、倫理観等を備えた人材の育成に努める。						
成果指標	職員研修の受講率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	65	75	80
		実績値		62	58		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,903千円	予算	1,978千円	見込	1,978千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	従来の階層別研修や専門実務研修に加え、新たに民間企業派遣研修や業務改善研修（研究会）を実施するとともに、北摂都市研修協議会に参加し、他市町の職員との交流を図った。 また、おおさか市町村職員研修研究センターへの派遣研修についても、指名制から希望制に改めた。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	業務上必要な知識・技能の習得や資質・能力の向上を図ることができた。 また、業務改善研修（研究会）を通し、職員の自主性を引き出すとともに、職員の意識改革や組織の風土改革を図ることができた。						
今年度の活動計画	階層別研修の実施、おおさか市町村研修研究センターや北摂都市研修協議会の主催する研修への参加 民間企業派遣研修、業務改善研修（研究会）の実施 等						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	企画政策課
事務事業名	権限移譲事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	04	広域行政の推進
大事業名	020106	権限移譲事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町が自らの責任と判断で、町の実情に合った地域のことは地域で決めるを実践し、より住民の利便性の向上を図る、また、行政サービスの提供に事務の効率性や経費を考え、近隣市町と広域で実施する方がよいと判断されるものはどんどん広域行政の中で実行していく						
成果指標	大阪府からの移譲事務数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	事務	-	75	75	75
		実績値		0	92		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	6,053千円	予算	22,701千円	見込	26,068千円
	うち特定財源	決算	30,756千円	予算	1,338千円	見込	1,338千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	大阪版地方分権制度によりこれまでに92件の事務の移譲を受けた、その内53件の事務については、池田市、箕面市及び能勢町の2市2町での共同処理又は、池田市及び能勢町との1市2町における分担事務として実施している。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	町単独で移譲を受けた事務については、移譲後の事務処理件数が全くないものが多く、移譲の効果を実証するまで至っていない。共同事務については、事業による効果は実感できない。						
今年度の活動計画	今後も各事務事業を検討し必要のあるものについては積極的に移譲を受ける。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	環境課
事務事業名	国崎クリーンセンター運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	04	広域行政の推進
大事業名	040201	国崎クリーンセンター運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	1市3町(川西市・猪名川町・能勢町・豊能町)の広域連携による施設の適正管理を行うと共に、啓発施設を活用し、リサイクルやごみの減量・資源化等の情報発信を行う。						
成果指標	啓発施設の利用人数(延べ人数)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	3,400	3,500	3,600
		実績値		3,302	2,471		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	229,970千円	予算	265,996千円	見込	263,605千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	ごみ減量化推進員の研修で啓発施設「ゆめほたる」を見学し、ごみ処理の状況・減量化の必要性について学んでいただいた。また、小学校の子供たちの社会見学場所として活用していただいている。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	ごみ減量化推進員に施設見学をいただき、担当地域でのごみの分別の徹底、減量化・再資源化の推進に寄与した。						
今年度の活動計画	ごみ減量化推進員の研修で啓発施設「ゆめほたる」を見学。自治会員への「ゆめほたる」見学を推進いただき、ごみ処理の状況・減量化の必要性について多くの方に学んでいただく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	消防総務課
事務事業名	消防庁舎建設実施計画事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	04	広域行政の推進
大事業名	090102	常備消防活動事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	老朽化した消防本部・消防署庁舎の移転新築により消防防災拠点施設の充実強化に努めると共に、箕面市との消防連携による効率的な消防体制を構築し、地域住民の生命・身体・財産をあらゆる災害から守ることを目的とする。						
成果指標	庁舎建設にかかるトラブル件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	0	0	0
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,754千円	予算	109,600千円	見込	178,184千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	103,406千円	見込	177,513千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	消防本部庁舎移転新築工事（平成24年度～平成25年度の継続事業）の施工に向け、関係機関との調整を実施した。また、当該工事場所に植栽している樹木の内、移植に適する樹木の仮移植等を実施。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	事業が円滑かつ適切に実施するための事前調整等が順調に実施出来たもの。また、設計業務の完了後において直ちに工事に着手し、効率的な業務遂行が期待できるものである。						
今年度の活動計画	消防本部庁舎移転新築工事に係る設計業務及び土地造成並びに本体工事の着工を予定している。						